

# 平成29年度 道路安全性検討委員会 開催概要

■日時：平成30年3月8日(木) 13:30～15:00

■場所：新潟国道事務所 B棟 2階大会議室

## ■議事次第

1. 開会
2. 規約の改正について
3. 議事
  - (1) 今年度の事故ゼロプランの取り組み状況
  - (2) 事故危険区間選定条件の見直し
  - (3) 生活道路の交通安全の確保に向けた取り組み
4. その他
5. 閉会

## ■出席者(敬称略)

- |      |                           |         |
|------|---------------------------|---------|
| 委員   | 上越教育大学 大学院学校教育研究科 教授      | 浅倉 有子   |
| 委員   | 公益財団法人新潟県女性財団 理事長         | △大島 煦美子 |
| ○委員  | 長岡技術科学大学 大学院工学研究科 教授      | 佐野 可寸志  |
| 委員   | 株式会社新潟日報社 取締役             | 鈴木 聖二   |
| 委員   | 一般社団法人新潟県ハイヤー・タクシー協会 専務理事 | △鈴木 久夫  |
| 委員   | 公益社団法人新潟県バス協会 専務理事        | △高橋 清吉  |
| 委員   | 公益社団法人新潟県トラック協会 専務理事      | 浅間 博    |
| 委員   | カミフル・サイクルステーション           | 高橋 正良   |
| 委員   | 有限会社ミカユニバーサルデザインオフィス      | △中村 美香  |
| 委員   | 新潟県警察本部 交通部 交通規制課長        | △真島 豊   |
| 委員   | 北陸地方整備局 道路部 道路計画課長        | △御器谷 昭央 |
|      | (代理)北陸地方整備局 道路部 建設専門官     | 林 正樹    |
| 委員   | 北陸地方整備局 道路部 道路管理課長        | △杉 浩行   |
|      | (代理)北陸地方整備局 道路部 建設専門官     | 磯野 信樹   |
| 委員   | 北陸地方整備局 新潟国道事務所長          | 大江 真弘   |
| ○委員長 | △欠席                       |         |

## 【オブザーバー】

- |         |                |        |
|---------|----------------|--------|
| 新潟県     | 土木部 道路管理課長     | △丸山 和浩 |
| 新潟市     | 土木部 土木総務課長     | △高橋 昌芳 |
| (代理)新潟市 | 土木部 土木総務課 課長補佐 | 渡辺 勝彦  |

## 議事要旨

### 平成29年度 道路安全性検討委員会

#### ■委員会での審議事項

- ・平成29年度道路安全性検討委員会審議事項
  1. 事故ゼロプランの取り組み状況
  2. 事故危険区間選定条件の見直し
  3. 生活道路の交通安全の確保に向けた取り組み

#### ■審議内容

- ・平成29年度道路安全性検討委員会審議事項

##### 1. 今年度の事故ゼロプランの取り組み状況

###### <説明内容>

- ・事故ゼロプランの進捗状況、目標達成度評価、事故危険区間の追加選定、広報について説明。



###### <委員からのご意見>

1. 直轄国道の死亡事故、重大事故がH27で減少している要因について教えてほしい。
2. 新規選定区間の事故発生要因について、今後は天候や時間帯等の観点からも分析をお願いしたい。



###### <事務局の回答>

1. 事故対策に加え、自動車の安全技術の進歩、特に衝突被害軽減ブレーキの普及が大きいのではないかと考えている。
2. 今後分析を実施していく。

## 2. 事故危険区間選定条件の見直し

### <説明内容>

- ・ 事故危険区間選定条件の簡素化、事故データ選定基準の見直し案について説明。

### <委員からのご意見>

1. 数値基準見直しの方法について、これほどばらつきが大きいものを回帰分析する意味があるのか教えていただきたい。
2. すでに登録されている区間と、基準見直しにより新たに選定された区間では、対策の優先度も異なる場合もある。どうやって対策を進めていくのか。

### <事務局の回答>

1. 当初の設定方法と同じやり方でやったものを示している。回帰分析が妥当なのか、基準の見直しについて別の視点があるのか、勉強しながら検討していきたい。
2. これは大きな課題と考えている。どれを優先すべきかは明確にできないものであるが、長期未対策区間の対応方針も含めて検討していきたい。

## 3. 生活道路の交通安全の確保に向けた取り組み

### <説明内容>

- ・ 生活道路の交通安全の確保に向けた取り組みの概要、市町村への技術的支援の内容、追加の対策エリア登録状況について説明。

### <委員からのご意見>

1. ライジングボラードはなぜやわらかい材質のものなのか。海外では硬い材質のもので、進入抑制の観点からも硬いほうがいいのではないかと考えられる。
2. 生活道路の登録エリア数に市町村ごとの差異がある。登録エリア数の資料と効果の事例を提供するとよいと思われる。

### <事務局の回答>

1. 万が一上昇中に車両が通行し事故が発生しても問題にならない材質になっている。今後さらに普及していけば材質が変わる可能性はある。
2. 分析データは市町村に提供しているので、いただいた意見も参考にしながら進めていきたい。

#### 4. 全体を通して

<委員からのご意見>

1. 選定条件の見直しに関しては、他県も同様の課題がある。他県の事例も提供させていただき、協働で進めていければいい。
2. 選定条件の見直しに関しては、委員長と相談の上、必要に応じて委員会の開催も含めて実施していきたい。
3. アンケート回答数が少ないのが、気になる点として挙げられる。学生はPCよりもスマートフォンを使うので、それへの対応も必要。
4. SNSを活用した広報については、普段から有益な情報を発信しつつフォロワーを確保し、そのうえで事故ゼロプランの情報を発信すればよいのではないかと思う。地道にやっていたら効果は出てくる。